

# 政務活動報告書

会派名            櫻鳴会

年 月 日	令和 7 年 7 月 28 日 ~ 令和 7 年 7 月 29 日		
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	防衛省(新宿区) 新青森駅 ~ 東京駅(東京都1泊) ~ 新青森駅		
相手方 (会議名等)	吉田圭秀 統合幕僚長、寺田広紀 大臣官房施設監		
参加議員名	松橋武史		
活動の概要	別紙のとおり		
	※会議・研修資料等があれば、添付してください。		
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号      支払証明書番号
	鉄道賃	33,860 円	1
	宿泊費	14,800 円	2
		円	
		円	
		円	
	合計額	48,660 円	
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり		

令和7年8月20日

櫻鳴会 松橋 武史

令和7年度政務活動報告

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

- 1 活動日時：令和7年7月29日
- 2 要望者：弘前市議会議員有志による防衛議員連盟 別紙通り
- 3 要望先：防衛省 添付 名刺コピーの通り
- 4 要望事項：陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望 内容は別紙の通り

防衛省 統合幕僚長  
吉田 圭秀 様

# 要 望 書

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

## 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

武力によるロシアのウクライナ侵略、核開発から端を発したイスラエルとイランの対立、北朝鮮による大陸間弾道ミサイルの発射など、国際社会においては、政治的・社会的問題が絡み合う緊迫した情勢が続いており、我が国を取り巻く安全保障環境はより一層厳しさを増しております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とする市民活動によって誘致し、昭和43年に開設されており、その主たる任務である青森県西部の防衛・警備・災害派遣に留まらず、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティアや当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも地域にとってなくてはならない存在となっております。

令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊体制について見直しを図られるものと認識いたしております。これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて格別のご配慮を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

会長 尾崎 寿一

防衛省 大臣官房審議官  
寺田 広紀 様

# 要 望 書

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

## 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

武力によるロシアのウクライナ侵略、核開発から端を発したイスラエルとイランの対立、北朝鮮による大陸間弾道ミサイルの発射など、国際社会においては、政治的・社会的問題が絡み合う緊迫した情勢が続いており、我が国を取り巻く安全保障環境はより一層厳しさを増しております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とする市民活動によって誘致し、昭和43年に開設されており、その主たる任務である青森県西部の防衛・警備・災害派遣に留まらず、駐屯地周辺のりんご園での援農ボランティアや当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも地域にとってなくてはならない存在となっております。

令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊体制について見直しが行われるものと認識いたしております。これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月29日

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

会長 尾崎 寿一



防衛省 大臣官房審議官

寺田 広紀

〒162-8801  
東京都新宿区市谷本村町五十一  
電話：〇三(五二六九)三二五六  
e-mail: [REDACTED]

退官御挨拶

統合幕僚長

陸将 吉田圭秀



〒一六二一八八〇五  
東京都新宿区市谷本村町五番一号  
TEL〇三(三二六八)三一一一内三〇〇〇〇

# 政務活動報告書

会派名 櫻鳴会

年 月 日	令和 7 年 10 月 24 日 ~ 令和 7 年 10 月 25 日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	防衛省(新宿区) 新青森駅 ~ 東京駅(東京都1泊) ~ 新青森駅			
相手方 (会議名等)	伊藤晋哉 整備計画局長			
参加議員名	松橋武史			
活動の概要	別紙のとおり			
	<p>※会議・研修資料等があれば、添付してください。</p>			
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	鉄道賃	33,860 円	4	
	宿泊費	14,800 円	5	
		円		
		円		
		円		
	合計額	48,660 円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり			

令和7年11月7日

櫻鳴会 松橋 武史

令和7年度政務活動報告

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟弘前市議会議員有志による防衛議員連盟

- 1 活動日時 令和7年10月24日
- 2 要望者 弘前市議会議員有志による防衛議員連盟 その他 別紙の通り
- 3 要望先 防衛省 添付名刺コピーの通り
- 4 予防事項 陸上自衛隊弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望 内容は別紙通り

令和7年10月24日

弘 前 市 市 長 櫻田 宏

弘 前 商 工 会 議 所 会 頭 今井 高志

弘前市議会議員有志による防衛議員連盟 会 長 尾崎 寿一

防衛協会津軽地区連絡協議会 会 長 工藤 武重  
弘 前 市 防 衛 協 会

青森県隊友会中弘支部 支部長 上月 潔

弘 前 市 自 衛 隊 家 族 会 会長代行 中山 悟  
(副会長)

防衛省 整備計画局長  
伊藤 晋哉 様

# 要 望 書

令和7年10月24日

弘 前 市  
弘 前 商 工 会 議 所  
弘前市議会議員有志による防衛議員連盟  
防衛協会津軽地区連絡協議会  
弘 前 市 防 衛 協 会  
青 森 県 隊 友 会 中 弘 支 部  
弘 前 市 自 衛 隊 家 族 会

## 陸上自衛隊 弘前駐屯地の体制維持・強化に関する要望

国際社会においては、ロシアによるウクライナ侵略が継続しているのをはじめ、中国による尖閣諸島周辺を含む東シナ海や太平洋などでの活動の活発化、北朝鮮による弾道ミサイルの発射など、我が国を取り巻く安全保障環境は、より一層厳しく複雑なものとなっております。

弘前駐屯地は、弘前商工会議所を中心とした多年にわたる市民の誘致活動により、昭和43年に開設されて以来、長年にわたり我が国北方の防衛を担い、市民の平和と安全の確保はもとより、災害発生時の支援のほか、当市四大まつりへの参加・協力など、地域経済の観点からも市民にとってはなくてはならない存在となっております。

しかしながら、令和4年12月には国家防衛戦略が閣議決定され、自衛隊の体制についても再編が行われていると認識いたしております。

これまで弘前市民とともに歩んできた弘前駐屯地の体制を維持し、さらなる強化に向けて、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。





防衛省  
MINISTRY OF  
DEFENSE

〒162-8801

東京都新宿区市谷本村町五十一  
FAX 三(五二二八)三六一四  
E-mail: 三(五二二九)二一四三

整備計画局長

伊藤 晋哉

# 政務活動報告書

会 派 名      櫻 鳴 会

年 月 日	令和 7 年    7    月    7    日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	百石町展示館			
相手方 (会議名等)	市政報告・対話集会			
参加議員名	佐藤哲、松橋武史			
活動の概要	<p>市民約10名が参加し、当市議会の活動及び市の施策等について報告した。また、参加した市民から市への要望等を伺った。市民と議員の対話を実施することで、議会の見える化にもつながり、大変意義のある広聴広報活動であった。</p> <p>※会議・研修資料等があれば、添付してください。</p>			
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	広告料	99,000 円	3	
			円	
			円	
			円	
	合計額	99,000 円		
備 考	(写真貼付等)			

# 政務活動報告書

会 派 名      櫻 鳴 会

年 月 日	令和 7 年 10 月 8 日 ~ 令和 7 年 10 月 9 日				
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	百石町展示館				
相手方 (会議名等)	市政報告・対話集会				
参加議員名	佐藤哲、松橋武史				
活動の概要	<p>市民約10名が参加し、本市議会の活動及び市の施策等について報告した。また、参加した市民から市への要望等を伺った。市民と議員の対話を実施することで、議会の見える化にもつながり、大変意義のある広聴広報活動であった。</p> <p>※会議・研修資料等があれば、添付してください。</p>				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額		領収書番号	支払証明書番号
	会場使用料	520	円	6	
	会場附属設備等使用料	260	円	7	
	広告料	198,000	円	8	
	合計額	198,780	円		
備 考	(写真貼付等)				

# 政務活動報告書

会 派 名      滄桑之会

年 月 日	令和 7 年    11    月    25    日				
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	百石町展示館				
相手方 (会議名等)	市政報告・対話集会				
参加議員名	佐藤哲、松橋武史				
活動の概要	<p>市民約10名が参加し、当市議会の活動及び市の施策等について報告した。また、参加した市民から市への要望等を伺った。市民と議員の対話を実施することで、議会の見える化にもつながり、大変意義のある広聴広報活動であった。</p> <p>※会議・研修資料等があれば、添付してください。</p>				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額		領収書番号	支払証明書番号
	会場使用料	520	円	9	
	会場附属設備等使用料	240	円	10	
	広報費	99,000	円	12	
	合計額	99,760	円		
備 考	(写真貼付等)				

# 政務活動報告書

会 派 名      滄桑之会

年 月 日	令和 7 年    12    月    27    日				
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	百石町展示館				
相手方 (会議名等)	市政報告・対話集会				
参加議員名	佐藤哲、松橋武史				
活動の概要	<p>市民約10名が参加し、当市議会の活動及び市の施策等について報告した。また、参加した市民から市への要望等を伺った。市民と議員の対話を実施することで、議会の見える化にもつながり、大変意義のある広聴広報活動であった。</p> <p>※会議・研修資料等があれば、添付してください。</p>				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額		領収書番号	支払証明書番号
	会場使用料	520	円	13	
	会場附属設備等使用料	260	円	14	
	広告料	99,000	円	15	
	合計額	99,780	円		
備 考	(写真貼付等)				

# 政務活動報告書

会 派 名      滄桑之会

年 月 日	令和 8 年    1    月    30    日				
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	百石町展示館				
相手方 (会議名等)	市政報告・対話集会				
参加議員名	佐藤哲、松橋武史				
活動の概要	<p>市民約10名が参加し、当市議会の活動及び市の施策等について報告した。また、参加した市民から市への要望等を伺った。市民と議員の対話を実施することで、議会の見える化にもつながり、大変意義のある広聴広報活動であった。</p> <p>※会議・研修資料等があれば、添付してください。</p>				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額		領収書番号	支払証明書番号
	会場使用料	520	円	16	
	会場附属設備等使用料	180	円	17	
	広告料	99,000	円	20	
			円		
	合計額	99,700	円		
備 考	(写真貼付等)				

# 政務活動報告書

会 派 名      滄桑之会

年 月 日	令和 8 年    2    月    3    日    ~    令和 8 年    2    月    4    日				
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	松山市役所(松山市) 青森空港 ~ 東京(羽田空港) ~ 松山空港 ~ 松山市駅(松山市1泊) ~ 松山空港 ~ 東京(羽田)空港 ~ 青森空港				
相手方 (会議名等)	防災危機管理部市民防災安全課 中山洋平				
参加議員名	松橋武史				
活動の概要	別紙のとおり				
	※会議・研修資料等があれば、添付してください。				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額		領収書番号	支払証明書番号
	航空賃	44,018	円	11	
	キャンセル料	19,190	円	18	
	宿泊費	14,500	円	19	
	鉄道・バス賃	2,390	円		1-3
	合計額	80,098	円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり				



令和8年2月3日 滄桑之会 松橋 武史 視察 松山市

視察項目：産官学民が連携した全世代型防災教育について

松山市では、全市民を対象とした全世代型防災教育を行い、受講者の年代などに応じたプログラムを提供して防災リーダーを育成し、防災教育を次の世代へと継承する仕組みを作っている。

また、愛媛大学、松山大学、市教育委員会、自主防災組織、防災士などの関係者を委員とする松山市防災教育推進協議会を設立し、それぞれの委員から様々な世代や職域でどのような知識が必要か意見をいただき、松山市独自の防災教育について協議を行っている。

さらに、愛媛大学防災情報研究センター内に松山防災リーダー育成センターを設置し、松山市防災教育推進協議会での意見を基に、小学生や中学生、教員、自主防災組織や防災士、企業や福祉施設など、様々な世代や職域に応じた防災教育プログラムを開発・実践している。

上記のような取組を当市においても実践していくことで、市民の防災力向上につながるのではないかと考えた。



松山市  
防災危機管理部 市民防災安全課

主任 中山 洋平  
*Nakayama Yohei*

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2  
TEL(089)948-6795 FAX(089)934-3157  
E-mail: [REDACTED]

# 政務活動報告書

会 派 名      滄桑之会

年 月 日	令和 8 年 3 月 27 日				
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	百石町展示館				
相手方 (会議名等)	市政報告・対話集会				
参加議員名	佐藤哲、松橋武史				
活動の概要	<p>市民約10名が参加し、当市議会の活動及び市の施策等について報告した。また、参加した市民から市への要望等を伺った。市民と議員の対話を実施することで、議会の見える化にもつながり、大変意義のある広聴広報活動であった。</p> <p>※会議・研修資料等があれば、添付してください。</p>				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額		領収書番号	支払証明書番号
	広告料	99,000	円	21	
	会場使用料	520	円	22	
	会場附属設備等使用料	230	円	23	
			円		
	合計額	99,750	円		
備 考	(写真貼付等)				